

研修プランB9

同僚の実践から黒板等の活用について考える

- 目的 互いの実践から黒板やホワイトボード等の活用について考え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む手掛かりとする研修会です。
- 対象 校内
- 時間 50分
- 形態 全体→グループ→全体→個人
※グループの分け方：4人程度で教科や学年が混在しているグループ構成
- 準備物 授業で記録した板書やホワイトボード等の画像をカラー印刷したもの（人数分）
 上記を拡大印刷したもの（グループ数）
 模造紙（グループ数）
 付箋（人数分×10枚）
 黒サインペン（人数分）
 セロハンテープ ※カラー印刷したものを模造紙に貼る際に使用
 プロジェクタ、実物投影機 ※画像を投影するものとして、状況に応じて用意
 本時や単元の学習指導案 ※授業の概要を説明するものとして、状況に応じて用意
 小・中学習指導要領解説「総則編」(平成29年6・7月公示) ※必要に応じて用意
 省察用の用紙 ※状況に応じて用意

●研修前

- 提案者、準備、グループ構成等を決定し、事前に通知する。
- 研修会の概要等について、予め紙面等で伝達し、効率化を図る。
- 研修にあたって、解決したい自己の課題を確認しておく。
- 小・中学習指導要領解説「総則編」(平成29年6・7月公示)の該当箇所を確認しておく。

●研修

流れ	進め方	留意点等
1 研修の説明 【全体】（5分）	○会の目的、流れ、時間、形態を確認して、見通しを持つ。	○目的は上記「■目的」参照 ○流れは左欄「流れ」参照
2 協議 【グループ】 ①付箋に記入 （5分）	○板書等の画像をカラー印刷したものを配付し、良さを捉えて付箋に書き出す。	○グループの分け方は上記「■形態」参照 ○状況に応じて、実際の授業後の黒板、投影したもの等を提示する。「■準備物」参照

<p>②付箋の貼付 (10分) 参考資料</p> <p>③良さの整理 (10分) 参考資料</p>	<p>○画像をカラー印刷したものに付箋を貼る。</p> <p>○A・Lの視点を踏まえて、どんな授業改善が図られているかを話し合い、整理する。</p>	<p>○良さの理由を説明しながら、該当する付近に付箋を貼る。内容的に近いものは重ねたり分類したりしていく。</p> <p>例1)「見通しが持てる板書」 視点や方法が明らかで、解決への手掛かりになっている。</p> <p>例2)「思考を広げ深められる板書」 対立や変容等、思考が構造的に明らかになり、視覚的に捉えやすくなっている。</p> <p>例3)「振り返りのできる板書」 解決に至ったプロセスが明らかで、自身の学びと照らし合わせられる。</p>
<p>3 共有 【全体】</p> <p>①グループ発表 (10分)</p> <p>②まとめ (5分)</p>	<p>○グループの代表者が、グループでの協議について発表する。</p> <p>○共有した内容を整理し、今後の方向性等を明らかにする。</p>	<p>○状況に応じて、プロジェクタや実物投影機を使用して進めてもよい。</p> <p>○「2 協議」の「③良さの整理」を中心に発表する。</p> <p>○学校として育成したい資質・能力に迫るための、黒板やホワイトボード等の活用について整理する。</p>
<p>4 省察 【個人】(5分)</p>	<p>○今後の方向性等を踏まえて、取り組むべきことを記述する。</p>	<p>○次の点を踏まえて記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人として課題に感じていること ・個人として取り組むべきこと

●研修後

個人での省察を踏まえて、教科や学年ごとに目指す子供の姿を見直し、黒板やホワイトボード等の活用を通じた授業改善について話し合う。

(参考資料) まとめ方のイメージ

(良さを整理した模造紙)

